

国の審議状況①（中央新幹線小委員会）

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしており、今回は、国の審議状況についてお知らせします。

リニア中央新幹線計画については、国の交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会において審議されています。

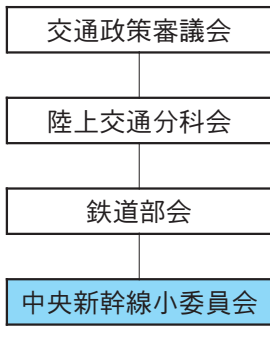
交通政策審議会は、国土交通大臣の諮問に応じて交通政策に関する重要事項を調査審議する機関で、リニア中央新幹線計画については鉄道部会の下に設置された中央新幹線小委員会（図）で集中的に審議されています。

小委員会は、家田仁委員長（東京大学大学院工学系研究科教授）以下15名で構成されています。7月までに5回開催され（表）、技術事項に関する検討やJR東海、沿線自治体（都府県）からのヒアリングなどが行われました。

このヒアリングで聴取された意見は、取りまとめられ、近くパブリックコメントが実施される予定です。また、小委員会としてルート毎の

費用対効果や需要予測などの分析も行われており、論点整理を経て中間取りまとめに盛り込まれる予定です。家田委員長は、4月の小委員会の席上で「最終の取りまとめが1年とか2年」と述べており、今後、1年半から2年かけて審議され、小委員会としての結論がまとめられる見込みです。来月号では小委員会の審議の内容についてお知らせいたします。

中央新幹線小委員会の位置づけ（図）



（表）中央新幹線小委員会の開催状況（7月5日現在）

	開催日	主 な 議 題
第1回	3/3	・中央新幹線小委員会の設置について ・中央新幹線について ・当面の検討の進め方について
第2回	4/15	・技術事項に関する検討について ・中央新幹線に関する視点と論点について
第3回	5/10	・JR東海からのヒアリング
第4回	6/4	・沿線自治体からのヒアリング (神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県)
第5回	7/2	・沿線自治体からのヒアリング (東京都、静岡県、愛知県、三重県、大阪府、奈良県)

※委員会の資料や議事録は、国土交通省のホームページでご覧いただけます。

URL http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s304_sinkansen01.html